

議事録

第2回 田無小学校運営協議会（発言者ごとの要点記録）

日時：令和5年6月20日（火）15時30分～16時45分

場所：田無小学校ランチルーム

出席：協議会委員9名 学校関係者4名

欠席：協議会委員1名

司会より

- ・委員10名中9名の出席により本会議は成立
- ・配布資料確認

次第1 校長挨拶

- 6時間目、子供たちの様子をご覧いただいた。高学年は教科担任制を市内で唯一導入している。その成果もあり、高学年の児童については、担任・専科の教員間での情報共有ができており、何かあっても迅速な対応ができています。
- 前回欠席の委員に任命書の授与。

次第2 第1回議事録について

- 第1回学校運営協議会の議事録について内容を確認 ⇒ 承認
- 今後ホームページ等で公開していく。

次第3 学校評価について

- 評価項目（目標）については資料参照。
- これらの項目について、努力目標は教職員の自己評価で、成果目標は教員の見取りや外部評価を受け、次年度に向けて改善のための具体策を講じていく。

【質疑・応答】

Q：基礎基本の定着の具体的な内容にある「eライブラリ」とは具体的にどんなものなのか。

A：児童が自分のタブレットで問題に取り組む。児童が自ら選択したり、教員が問題を選択して出題したりすることができる。児童の実施状況や正答率などを把握し管理しながら取り組むことができ。時差登校がなくなったので、朝学習の時間を活用して実践できるようになった。

Q：体力向上（マラソン）の取り組みは、最近、児童に取り組ませることが難しい内容である。どのように取り組ませているのか。

A：休み時間に児童の発達段階に合わせた時間の持久走に取り組ませている。目安は学習指導要領の内容に準じている。

次第4 周年行事について

- 活動内容は主に4つ。日時や内容、進捗状況については資料参照。
- 児童（代表委員会）が主体となって取り組んでいるものもある。
- 学習発表会では、ふるさと探求学習で学んだことを様々な形で表現できるようにしていく。

- 記念品については、トートバックを準備中。

【次第5】 教員公募について

- 田無小学校が求める教師像について、校長から説明。
- 地域が求める教師像について意見交換を実施。

【各委員からの意見の要約】

- ・ 子供とコミュニケーションがとれる。子供の声がきける教員。
- ・ 子供たちが、相手のことを自分のこととして捉えることができるようになってほしい。「相手意識」「協力」「助け合い」などの意識を高めることができる教員。
- ・ 地域のことに興味をもてる教員。学校の教員に可能な限り地域行事等にて、交流して欲しい。地域も学校に興味をもち、地域と学校がともに学び合いよりよく循環して欲しい。
- ・ 先生が魅力的（イキイキしている）だと、児童が自然とついている。自己肯定感が高く、自分のPRポイントがしっかりとしている教員。
- ・ 学校と地域と一緒に楽しんでいける距離感でありたい。育成会の行事等に各教員が得意分野を生かしながら参加できるとよい。
- ・ 先生方も求められることが多く大変であると感じるのが正直な感想。授業を参観して児童への個別の対応が素晴らしかったと感じた。求めることも大切であるが、先生方を支えたり育てたりしていくことも大切なのではと思う。
- ・ 地域の取り組みと学校との関わり方を工夫して、児童が参加しやすい環境を整えていくとよいのではないか。
- ・ 子供たちにとって担任の存在は大きい。地域の行事について、学校（担任）からの宣伝や声掛けがあると活性化につながるのでは。
- ・ この数年の間に異動してきた教員は地域のイベントカレンダーを知らない。地域の行事が復活していく今年、いつどんなものがあるのかを把握し、年間の見通しをもってよりよい地域との関わりができるようにしていきたい。
- ・ 児童と担任の相性もあるので、小学校で教科担任制があることで、児童の苦手意識も減っていくのではないかと感じた。

【次第6】 事務連絡

- 次回の会議は9月5日（火）15時30分からを予定している。
- 詳細は改めて通知する。第2回の議事録を同封するので確認をしていただく。

以上で第2回田無小学校運営協議会を終了する。